



野西2連覇ならず

サッカー

レチックススタジアム

【男子】

▽3位決定戦

弘前実 2-0 三本木

▽決勝

青森山田 4-2-0-0 八学野西

2-0

（青森山田は2年ぶり28度目の優勝）

「気持ちで負けた」

○：サッカー男子の八学野西は青森山田に完敗し、2連覇を逃した。MF木村隆太は「気持ちで負けてしまった。悔しいの一言」と無念さをにじませた。

試合開始早々に1点を失うと、その後も攻め込まれる時間帯が長く



【サッカー男子決勝・青森山田ー八学野西】前半、この試合唯一のシュートを放つ八学野西の越後來琉（右）
＝青森市カクヒログループアスレチックスタジアム

続いた。前半30分にはコーナーキックから痛恨の失点。「自分のマークミスで失点してしまった」

試合を通じて敵陣内へ攻め込む場面はあったもののシュートは前半の1本のみ。後半にも2点を奪われ力尽きた。

来年度から校名が変わるため、八学野西の名で戦うのは本年度が最後。三上晃監督は「『最後に全国大会に出て、お世話になった人に感謝を伝える』を合言葉に取り組んでいる。全国選手権の県大会に向け、また練習を積んでいきたい」と切り替えていた。

青森山田貫禄 4発完封勝ち

○：奮起が起きた昨夏の決勝とは打って変わり、試合は王者のワンサイドゲーム。青森山田は雨中決戦で球際やセカンドボールでの強さをまざまざと見せつけ、4発完封の貫禄勝ちを収めた。

開始から1分足らずで試合は動いた。相手GKがクロスをとこぼした一瞬の隙を見逃さず、FW原田幸が左足で先制。前半30分にはコーナーキックにDF森明陽磨が豪快に頭で合わせた。

後半、素早い攻守の切り替えでさらに優位に立ち、高い頻度で前線にパスを供給。3-0の試合終了間際には、個人技で抜け出したMF三國ケイスマンエプス主将が左足で突き刺し、駄目を押し替えてさらに優位に立った。

試合を通し、相手に許したシュート数は前半の1本のみ。三國主将は粘り強く守れたので良い試合ができた」とすがすがしく振り返った。